



らしいの受講者でした。会費は一人一円五十銭でした。三十人くらいもいたので四十五円ばかりの収入があり、それを全部父にあげたので、非常に喜んでおりました。

長崎中学校校長中村安太郎先生が、私のことを全校生に話して表彰されたことが新聞によって報道された後のことです。私はある日、長崎要塞指令部の指令官角 徳一大佐を訪問したのです。角大佐は中村先生から私のことをよく聞いておられたので、快くお会いいただいたばかりでなく、「この次から君は誰にもことわりなしに自分の室に入つて来てよろしい」といわれ、びつくりしたことがあります。初対面でそれほど信用していただいたのでした。それから要塞指令部で講演させていただいたばかりでなく、佐世保市役所と海軍の佐世保鎮守府に行つて講演しなさいといつて、司令官の官名づきで紹介されたのですが、まだ二十歳ぐらいの青二才の若者を官名づきで紹介いただいた角大佐にはまことに感謝に堪えないのです。佐世保市では助役さんに紹介されました。助役さんは角大佐のご紹介とあるので非常に親切であり、講演会の立看板はご自分で大きく書いておられたことをよく覚えています。講演会の後で講習会も開いていただきました。私は洋服を持ちません。普通の着物に袴をはいているだけでとても先生などとは思われない姿でした。講習会は一日だけでなく、五日間ぐらいはやったろうと思います。

佐世保鎮守府へは誰あてに紹介されたか覚えていないのですが、士官以上、今でいえば自衛隊の幹部以